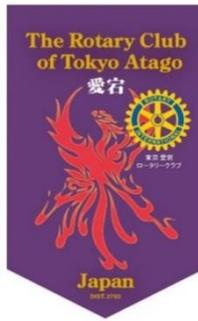


No. 14 2014/10/21

# WEEKLY REPORT 2014~2015



## 東京愛宕ロータリークラブ

会長 尾関勇 ・ 幹事 佐藤秀樹  
副会長 石渡美奈 ・ 副会長 片山謙次  
副会長 波多野まみ  
例会場 東京アメリカンクラブ  
例会日 毎週火曜日 8:00~

2014年10月21日(火)  
本日のプログラム

2014-15年度東京愛宕RC  
第2回クラブ協議会

### ~四つのテスト~

1. 真実かどうか
  2. みんなに公平か
  3. 好意と友情を深めるか
  4. みんなのためになるかどうか
- 言行はこれに照らしてから行うべし

### < 前回のプログラム >

2014年10月14日(火) 19時~21時  
東京愛宕RC 2014-15年度方針懇話会  
@国際文化会館セミナー室D

先週の例会は夜間例会でしたが、2014-15年度のクラブの方針を考え共有していくため、懇話会を開催することとなりました。

この日はメンバーに加え、入会希望をされているゲストの鈴木潤子様にもご出席頂き、貴重なご意見も頂きました。また今回、業務や台風の影響で会場へ来られなかった柳さん、塚田さんには、Skypeでのオンライン出席をして頂きました。広報戦略委員会のお二人による初の試みでした。

まずは尾関会長の点鐘・挨拶からスタート致しました。

### < 創立までの経緯の説明とコンセプト >

- ・新しい風というコンセプトに共鳴し、歴史を大切にしながらも新しい改革を行っていったより良い奉仕活動に取り組みたい。
- ・伝統と革新のバランスを大切にしたい。
- ・それぞれの会員の持ち味を生かした活動・多様性を受け入れながら活動できるクラブを追求していきたい。社会のために意見を出し合い、奉仕することが重要。
- ・ロータリー100年の革新を愛宕から！他のクラブへの良い影響を与えられるようなクラブを目指したい。
- ・世界一のクラブへ！大事なことは継続しながらも自由に、今の時代の価値観にあった質の高い活動へ。



続いて、メンバーの皆さんへ、以下の質問についてどのような意見があるのか、尾関会長より伺っていました。

Q1：入会してロータリーに思っていたイメージと現実の違いはどこか？（一部掲載）

- ・イメージがなかったからギャップはなかった。ロータリアンライフがこんなに早く来ると思っていなかった。親クラブがないので自制心を大切にしながらもやりがいや誇りを感じている。
- ・イメージ通り。奉仕をやりたくて入ったので、自分だけ熱いのではなく、皆も熱いそういった温度差がなかったことも良かった。
- ・自営業をやっている引退した人が多く、お金を出す奉仕というイメージだったが愛宕ロータリーは違う印象であった。みんなすぐに仲良くなるのは台湾のロータリーも一緒。長年一緒にいるといい仲間になる。自分の身をおく業界だけでなく色々な繋がりができるのも良いと思っている。メイキャップするののも一つの楽しみ。

Q2：現在の東京愛宕の事業方針に、自らのアイデアを加えるとしたらどのような内容か？（一部掲載）

- ・地域を巻き込んだ野外フェスをやりたい。
- ・東京港区という地理を活かして、地方や海外からの創業希望者を募りたい。例えば、みんなで全国まわって出張開催、パネリストと創業場所が港区なら、それをうたって地方でやる。まずは、日本を元気にして、その寄付で日本でボランティアが必要な場所へ奉仕が出来れば最高だと思う。
- ・チャリティ・ビギン・ザ・アート・ホーム。できることから始めることが大切。日本には給食費が払えない子供がいる。そのために何かできることがあるのではないかなと考えている。
- ・日本国内の経済も良くない。基本的な所得水準が下がっている。先進国であるにもかかわらず相対的貧困。先進国日本が抱えている問題の改善に向けてサポートできればいいと思っている。
- ・身近なところから目を向けていくことが大切。委員会が多すぎるので、もう少し、フォーカスをして取り組んだほうが意識統一しやすく取り組みがしやすいのではないかなと思う。
- ・ルクセンブルクの朝食会に出席した時に、5人くらいのお出席者の中で私が女性1人であり、女性の社会参画の話になった。世界一のクラブを目指すのであれば女性会員が多く活躍する当クラブの強みを生かして発信するというのも良いのではないかな。



その後、各委員会ごと委員長より、現在考えられていること、今までの実績報告、今後の予定等お話しいただきました。

本日の意見・方針を踏まえた上で、ディスカッションを行いました。

最後は尾関会長の挨拶・点鐘で閉会いたしました。



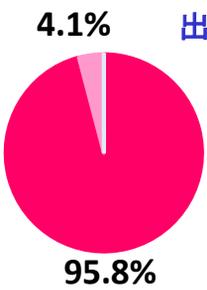
Q3：私がもし自由に決めていいなら、ロータリーでこんなことをやってみたいか？（一部掲載）

- ・キャンプファイアー・野外フェスも良いと思う。若い感覚を持った愛宕ロータリーができることをやるべきだと思う。企業支援塾も我々ならではの事業。そういった事業に取り組んで、注目を浴びていくといいのではないか。
- ・楽しいチャリティ、楽しく募金する仕組み作りをしていく必要があるのではないか。
- ・難民のこと、LGBT・子供向けの奉仕を個人的にはやってみたい。ほかの団体を巻き込んだりほかの団体から財源を調達したりということが出来るのではないか。草の根運動には限界がある。

◆◆ 出席報告 ◆◆

2014年10月7日 出席状況

- ・会員数 24名
- ・出席者 23名
- ・ビジター 3名
- ・ゲスト 1名



出席率内訳

- 当日出席数(23)
- 修正出席数(1)
- 欠席数(0)

修正出席率  
100%

《目標出席率》  
本例会50% 修正100%

◆ニコニコBOX◆ 累計総額 ¥277,315

10月・11月のプログラム

- 10/28(火) イニシエーションスピーチ: 猿田稚篤会員(東京愛宕RC社会奉仕委員長)
- 11/ 4(火) 規定により休会(メーキャップ対応なし)
- 11/11(火) 卓話: バヒリディノフ・マンスール様(米山学友(ウズベキスタン)、一般財団法人日本ウズベキスタン・シルクロード財団 代表理事)
- 11/18(火) 卓話: 寺尾潔様(公認会計士・税理士、I&R総合会計事務所代表)
- 11/25(火) イニシエーションスピーチ: 山田哲也会員(東京愛宕RC副S.A.A)

国際ロータリー第2750地区

東京愛宕ロータリークラブ

<http://atagorotary.com/>

<事務局>

〒106-0044 東京都港区東麻布2-15-2 アンゼン・パックスビル2階

TEL: 03-3568-3827 / FAX: 03-3568-3829 / E-mail: office@atagorotary.com

広報戦略委員長 柳 邦明

